

Kenko

ケンコー

FM/AM/SW マルチバンドラジオ

KR-002

取扱説明書

このたびは、マルチバンドラジオ「KR-002」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

はじめに ご使用前にお読みください

- 大切な場面で使用する場合は必ず事前に試聴してください。
■本製品の使用および故障により生じた直接、間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
■本取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
■本取扱説明書の図、写真の画面などは説明のために作成したものです。あらかじめご了承ください。
■本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複製することは、個人で楽しまれる場合を除き禁止されています。
■製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。
■本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。

安全上の注意 必ずお読みください

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他人の方々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

Table with 2 columns: Symbol (Warning, Caution, Attention) and Description of risks.

危険

- 可燃ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
■本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工および、火中投入などは行わないでください。発熱、発火、破裂の危険があります。
■本製品を高温の場所(真夏の車内、窓辺、暖房器具のそばなど)で使用、保管しないでください。

警告

- 本製品を自転車やバイク、自動車を運転中に絶対使用しないでください。交通事故の原因となります。
■本製品を定場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。
■本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。
■ラジオに何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。
■感電の恐れがありますので、濡れた手でラジオを触らないでください。
■ラジオの分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご連絡ください。
■本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因となります。
■小さな付風品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲にラジオを放置しないでください。
■ポリ袋(包装用)などを小さなお子様の手が届くところに置かないでください。口にあてて窒息の原因になることがあります。

注意

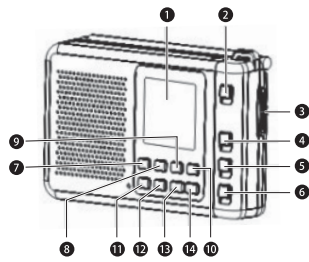
- 本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。
●砂、ほこり、ちりの多い場所 ●火の近く ●湿ったところ ●振動の激しい場所 ●温度・湿度の変化が激しい場所
■車内は、湿度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので使用および保管は避けてください。
■ラジオを落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。
■本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因となります。
■ストラップを持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。

その他のご注意

- 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するとき、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。
■山間部、高い建物が立ち並ぶところ、建物の内部等では、電波が弱まります。
■本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くには置かないでください。
■携帯電話と本機を近づけると雑音の原因となりますので、離してお使いください。
■故障防止のために、以下のことは避けてください。
●強い衝撃や落下 ●風呂場などの湿気の多いところや、倉庫などほこりの多いところでの使用
■大音量で長時間聞かないでください。聴力に悪い影響を与えることがあります。特にイヤホン使用等はご注意ください。
■室内でラジオを聴く場合はできるだけ窓のそばで他の家電製品から離してお使いください。
■使用環境および電池により動作時間が減少します。

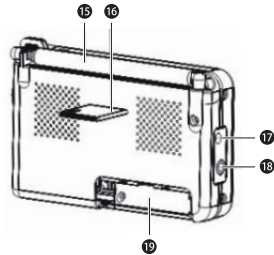
各部の名称 (本文中の丸数字は各部名称の番号)

正面



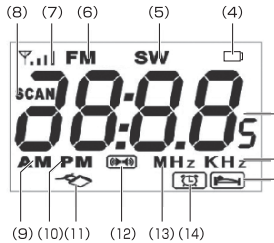
- ① 液晶
② 電源 / オートオフ
③ 音量ダイヤル
④ バンド切替 / SWメーターバンド / 時刻設定
⑤ 選局(↑) / 時刻設定(↑) / アラーム設定
⑥ 選局(↓) / 時刻設定(↓)
⑦ メモリー登録1
⑧ メモリー登録2
⑨ メモリー登録3
⑩ メモリー登録4
⑪ スキャン登録 / 時刻表示
⑫ ホールド
⑬ プリセット選局削除 / プリセット選局(-)
⑭ プリセット選局登録 / プリセット選局(+)

後面



- ⑮ ロッドアンテナ
⑯ サポートラック
⑰ 外部電源ジャック
⑱ イヤホンジャック
⑲ 電池ボックス

液晶表示説明 (本文中のカッコの数字は液晶表示各部名称の番号)



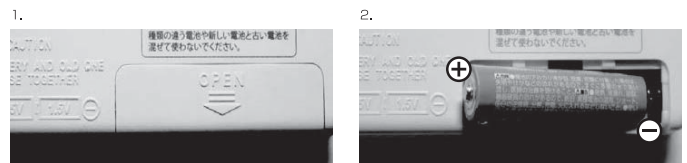
- (1) オートオフ (8) スキャン登録
(2) AM周波数単位 (9) AM/午前
(3) 周波数 / 時間 (10) 午後
(4) 電池アラーム (11) ホールド
(5) SW (12) FMステレオ
(6) FM ※音声出力はモノラルになります
(7) 電波強度 (13) FM-SW周波数単位
(14) アラーム

ご使用前に

電池の取付

電池ボックスに単4形乾電池2本をセットします。

- 1. 電池蓋の中央を押しながらOPENと書かれた矢印方向にずらして電池蓋を外します。
2. 背面の電池向きの刻印にならって正しい向きになるよう電池を入れます。
3. 電池蓋を元通り取り付けます。



- ◆ 電池を着脱する際は、必ず電源をOFFにしてから行ってください。
◆ 電池残量が少なくなると電池アラーム(4)が点滅します。新しい電池に交換してください。

!

- 新しい乾電池と使用した乾電池を混用で使用しないでください。使い切った乾電池はすぐにラジオから取り出してください。
● 異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。
● 電池をラジオの中に入れてそのまま長期ラジオを使用しないと、電池が消耗します。ラジオを長期使用しないとき(およそ1ヶ月以上)は電池を取り出してください。
● ショート、分解、加熱、充電(+), (-)の逆方向にセットをしないでください。使用済みの電池を火に入れるなどしないでください。
● 乾電池は乳幼児の手の届かない所に置き、乾電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。乾電池のアルカリ液がもれて、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。
● 電池は炎天下の自動車の車内など高温に場所放置しないでください。液もれ、発熱、破裂、発火の原因となります。
● 傷ついたり変形した電池は使わないでください。
● 使い切った電池はすぐに取り出してください。使用済みの乾電池は、お住まいの自治体が定めた方法で処分してください。

ケンコー・トキナーお客様相談室

お問い合わせは

フリーダイヤル(無料) ※海外からおよびIP電話では接続できません

0120-775-818

携帯電話・PHS・IP電話をご利用の場合

03-6840-3389 (通話料がかかります)

●受付時間 9:15~17:30 (土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季休業等を除く)
※本ダイヤルでの通話は、応対品質向上のため録音させていただきます。

ラジオを使用する

外部電源を使用する場合

1. 外部電源を使用する場合は、DC3V 300mAを安定的に電力供給出来るものを選んでください。
2. プラグの(+)、(-)極表示を確認してください。本器はセンタープラスです。
3. 外部電源で使用する場合は電池を外してください。

- ◆ 外部電源を購入する場合は、負荷電圧DC3Vを越えない物を選んでください。
- ◆ 長時間使用しないときは、外部電源を外してください。

時刻設定

12時間制と24時間制が選べます。電池を入れると12:00から始まります。

1. 本体OFF時、液晶下部にアラームマーク(14)が表示されていると現在時刻設定できません。(このまま時刻設定を行うとアラーム時刻が設定されてしまいます)
本体OFF時、アラームマーク(14)が出ている場合は、アラーム設定 5 を長押ししてキャンセルします。
2. 時刻設定するには時刻設定 4 をHour表示が点滅するまで数回押します。
時(Hour)が点滅している時に、時刻設定(1)(4) 5 6 を押して時(Hour)を設定します。
3. 時刻設定 4 を再度1回押します。分(Minute)が点滅します。時(Hour)設定と同様の手順で、分(Minute)を設定します。
4. 時刻設定 4 を再度1回押します。12/24H表示が点滅します。
点滅時、時刻設定(1)(4) 5 6 で12時間表示か24時間表示を選択します。
少し待つと時刻設定が確定されます。

- ◆ 電池を抜いて約15秒経つと時刻設定が12:00にリセットされますので再度、時刻設定を行ってください。

時刻表示

本体ON時、時刻表示 1 を押すと、現在時刻を表示します。
約3秒後、周波数表示に戻ります。

ラジオを使用する

簡単な使用方法

1. 電源を入れる時は、電源 2 を押し、電源ONにします。
前回本体OFFにした時のバンド、周波数が液晶に表示されます。
2. バンド切替 4 を押して、FM/AM/SWを切り替えます。
3. 選局(↑)(↓) 5 6 を押して、手動選局します。
4. 選局(↑)(↓) 5 6 を長押しして、自動選局します。
5. 音量ダイヤル 8 で音量を調節します。音量ダイヤルを上方向に回すと音量が大きくなります。
6. イヤホンを使用する場合は、イヤホンジャック 8 に差し込みます。
(スピーカーは自動的にOFFになります。)
7. 電源を切るときは電源 2 を押します。
電源が切れ、液晶表示が時刻表示になります。
8. 背面に付属のサポートラックを取り付け、図の様に置くことができます。



アンテナの調整

FM、SWを聞く場合はロッドアンテナをいっぱい伸ばし、アンテナをよく聞こえる方向に動かしてください。
AMの場合はアンテナがラジオに内蔵されているのでラジオ本体の向きを変えてください。

手動選局

本体ON時、選局(↑)(↓) 5 6 を1回押すと、その時の周波数から各バンドの周波数間隔で周波数が増減します。

FM : 0.1MHz間隔で増減。
AM : 9kHz間隔で増減。
SW : 0.005MHz間隔で増減。

自動選局

本体ON時、選局(1) 5 を押し続け、2秒後に離します。
その時の周波数から高い方に向かって自動的にサーチし、受信できる局で停止します。
本体ON時、選局(1) 5 を押し続け、2秒後に離す。
その時の周波数から低い方に向かって自動的にサーチし、受信できる局で停止します。

局の登録 / 削除

1. 自動、手動の選局を使用し、希望の局を選びます。
2. プリセット選局登録 14 を長押しすると、「PRE」と表示されます。14 を放すとPOOとプリセット番号が点滅します。
3. プリセット番号が点滅している時に、プリセット選局(+)(-) 14 15 を押し、P01-P27の中から登録番号を選びます。
4. 登録番号を選択し少し待つと点滅が終わり登録完了です。
5. よく使う局はメモリー登録1~4 7 8 9 10 にセットしておくとお便利です。
メモリー登録1~4に登録する場合は、これらのボタンを長押しします。
6. メモリー登録1~4には(P28-31)が割り当てられています。
7. 登録を削除するには、削除したいプリセット番号(POO)を選択し、プリセット番号削除 16 を長押ししてください。

局のスキャン

1. スキャン登録 17 を長押しします。スキャン登録(8)が表示され、スキャンを開始したときの周波数から上限周波数の間を自動的にスキャンします。プリセット番号順に保存されます。
2. スキャンは途中でいずれかのボタンを押すと停止します。
スキャン開始時の周波数より低い周波数はスキャンされませんので予めご了承ください。
スキャン結果は受信状況によりその度に異なる場合があります。

SW メーターバンド

電源ON時、バンド切替 4 を長押しすると、AMからでもFMからでもSWバンドに切り替わります。
周波数が点滅している間と同ボタンを押して、希望の周波数を選択します。
少し待つと周波数が確定されます。
また、バンド切替 4 を長押ししている間、周波数表示が自動で順次切り替わります。
希望のメーターバンド周波数を手を放し、少し待つと周波数が確定されます。

- ◆ メーターバンド表示順: 3.93(MHz)-4.75-5.95-7.20-9.50-11.65-13.60-15.10-17.50-18.90-21.45-3.93...
- ◆ バンド切替 4 を長押しして表示させた周波数は、前回選択したメーターバンドの1つ上の周波数です。

アラームでの起動、時刻設定

電源OFFの状態、電源ONにしたい時刻を設定すると、その時刻に電源が入り、その30分後(固定)、自動で電源が切れる機能です。

1. 本体OFF時、アラーム設定 9 を長押しします。液晶下部にアラームマーク(14)と設定時刻が表示されます。
アラームマーク(14)はアラーム設定が有効であることを意味します。
液晶下部にアラームマーク(14)あり: 設定時刻で自動的に電源ON
液晶下部にアラームマーク(14)なし: 設定時刻になっても電源は入らない
2. 時(Hour)表示が点滅するまで時刻設定 4 を押します。
時(Hour)が点滅している時に、時刻設定(1)(4) 5 6 を押して時(Hour)を設定します。
3. 時刻設定 4 を再度1回押します。時(Hour)の設定と同様の手順で、時刻設定(1)(4) 5 6 で分(Minute)を設定します。
少し待つと時刻設定が確定されます。
4. アラーム時刻になると、ラジオが自動的にONになります。選局は最後にOFFにした時のバンド、周波数です。
5. 30分後(固定)、ラジオが自動OFFします。
6. 30分経たないうちに電源OFFする場合は、電源 2 を押します。
7. アラーム設定を解除するには、本体OFF時にアラーム設定 9 を長押しします。
液晶のアラームマーク(14)が消えます。

- ◆ アラーム機能は、電源OFFになっても設定は有効のままで、毎日同じ時刻に動作します。
- ◆ 電池を抜いて約15秒経つとアラーム時刻設定が7:00にリセットされますので、再設定を行ってください。

オートオフ機能

電源がOFFになるまでの時間をあらかじめ設定して、電池の無駄な消耗を防ぐ機能です。

1. 本体OFF時、オートオフ 2 を数字が出るまで長押しします。
液晶下部にオートオフマーク(1)が液晶下部に表示されます。
オートオフマーク(1)はオートオフ機能が有効の間、表示されます。
2. オートオフまでの時間は数字が表示されている間に、オートオフ 2 を押すと、
10、20、30、45、60、90、00(オートオフ機能停止)と順次切り替わります。
ここでの数字は何分後に電源が切れるかを意味します。
3. 数字を選択し、少し待つとオートオフ設定時間が確定されて電源が入ります。設定した時間が経つと自動で電源が切れます。
4. オートオフ設定時間より前に電源OFFする場合は、オートオフ 2 を押します。

- ◆ オートオフ機能は一度電源が切れると無効になります。
- ◆ オートオフ機能を使用する場合は、そのたびに設定が必要になります。

ホールド

ラジオ本体の誤動作を防ぐため、ホールド 12 以外のボタンをロックする機能です。携帯時などの誤動作防止に便利です。

1. ホールド 12 を長押しします。
2. ホールド状態であることを示すホールドマーク(11)が液晶下部に表示され、ホールド 12 以外のボタン動作は効きません。
3. ホールド状態を解除するには、再度ホールド 12 を長押しします。 ホールドマーク(11)が消えます。

仕様

電池持続時間の目安

連続約20時間
バンド : AM
使用電池 : アルカリ乾電池
出力 : スピーカー

- ◆ 電池持続時間は、使用条件により短くなる場合があります。

主な仕様

受信周波数	FM: 76-108MHz AM: 522-1620kHz SW: 3.90-21.85MHz (11バンド)
スピーカー	Φ40mm/8Ω/0.5W
出力端子	イヤホン端子: φ3.5mmミニジャック
電源	単4形アルカリ乾電池x2個(別売) DC3V 300mA (外部電源 別売) (DCプラグサイズ内径φ1.35mm、外径φ3.5mmセンタープラス)
外形寸法	約66(高さ)x102(幅)x24(奥行)mm (突起部含む)
質量	約93g(電池、付属品含まず) 約114g(電池含む、付属品含まず)
同梱品	ラジオ本体、イヤホン、ストラップ、サポートラック、取扱説明書(本書)

JANコード: 4961607800119

発売元

 Kenko Tokina Co., Ltd.
株式会社 ケンコー・トキナー TOKYO/JAPAN

本社 〒164-8616 東京都中野区中野5-68-10 KT中野ビル

ケンコートキナー ホームページ <http://www.kenko-tokina.co.jp/>